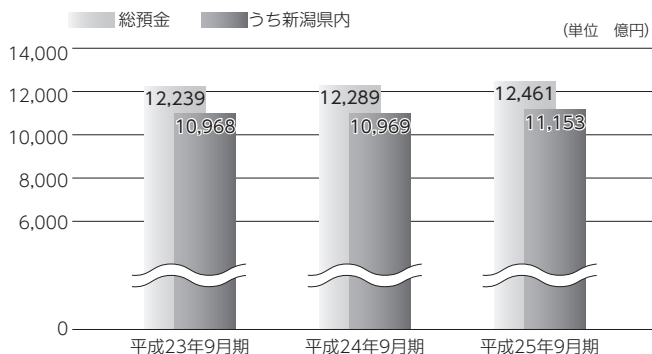


平成25年度中間決算ダイジェスト (単体)

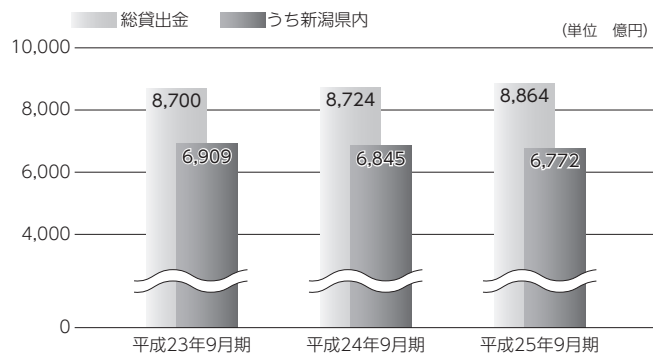
■ 預金残高



預金残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比172億円増加の1兆2,461億円となりました。

新潟県内預金残高は前年同期比184億円増加の1兆1,153億円であり、県内預金比率は89%です。

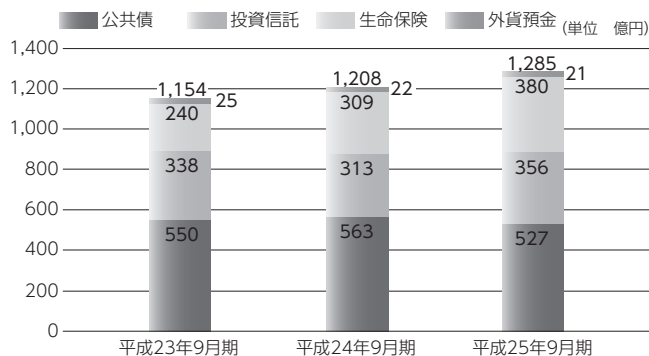
■ 貸出金残高



貸出金残高は、事業者向け貸出、個人向け貸出、地公体向け貸出のいずれも増加し、前年同期比140億円増加の8,864億円となりました。

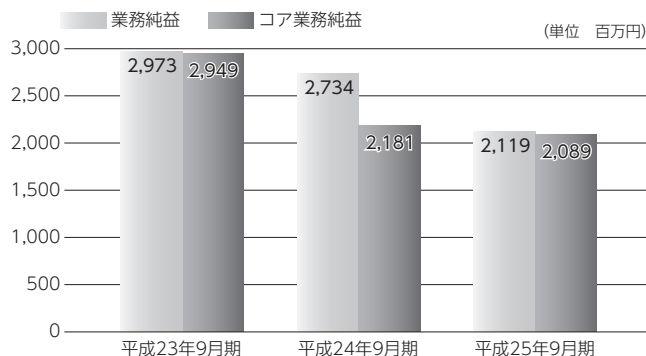
新潟県内貸出金残高は前年同期比73億円減少の6,772億円であり、県内貸出金比率は76%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、生命保険が増加したほか、投資信託が増加し、前年同期比77億円増加の1,285億円となりました。

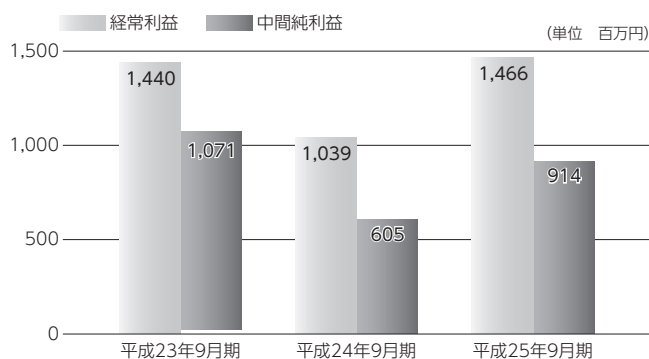
■ 業務純益・コア業務純益



業務純益は、役務取引等利益の増加や経費の減少、一般貸倒引当金繰入額の改善などの増益要因はありましたが、資金利益の減少などにより前年同期比6億150万円の減益となりました。

コア業務純益は、前年同期比92百万円減少し、20億89百万円となりました。

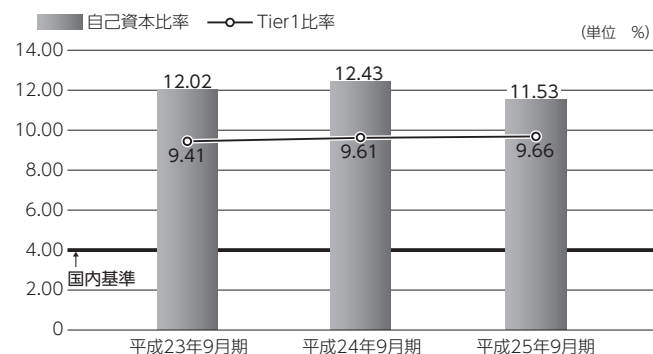
■ 経常利益・中間純利益



経常利益は、不良債権処理額の減少や有価証券(債券・株式等)関係損益の改善などにより、4億27百万円の増益となりました。

中間純利益は、法人税等調整額を含めた税金費用の増加などはありませんでしたが、経常利益の増加を受け、3億9百万円の増益となりました。

■ 自己資本比率・Tier1比率



自己資本比率は、劣後債の償還によるTier2の減少などにより、単体・連結ともに前年同期比0.90ポイント低下し、単体が11.53%、連結が11.56%となりました。国内基準の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。

自己資本のうち基本的項目だけで計算した単体のTier1比率は9.66%であり、引き続き十分な水準を維持しております。